

早稲田大学 政治経済学部 数学 講評

〔総合分析〕

出題形式	記述式
試験時間	60分
特徴・その他	

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
問1	空間ベクトルの内積, 垂直条件	成分を用いた計算に持ち込む.	基本
問2	整数の不定方程式	普段避けて通らなければ必ず出会い必ずものにできる問題である. $\boxed{\text{整数の積}} = \boxed{\text{整数}}$ に変形することは基本.	標準
問3	対称式	数値代入問題, 方程式の解と係数を利用する問題など対称式を式変形の道具とする問題.	基本
問4	曲線により囲む図形の面積	方程式の連立さえ丁寧にすれば必ず完答で切る問題. ●, ○がともに放物線のときの囲む図形の面積もいきたかったくらいだ.	標準

〔総合コメント〕

<p>時間にも余裕が持てた受験生が多かったのではないだろうか. 問2以外に差の出る問題が見当たらないほどである. 確実に解きたい4題である. 満点もかなりいたはずである. 得点は75パーセント以上必要.</p>
